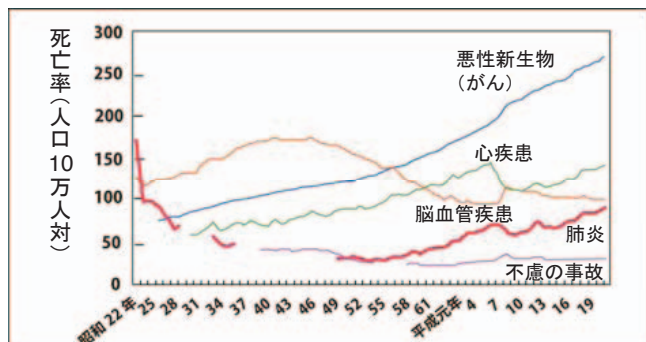


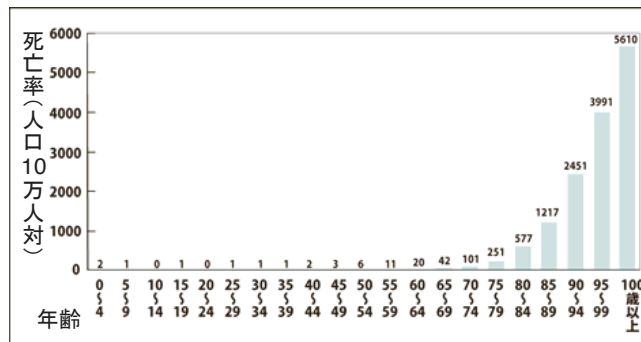
高齢者で高い肺炎での死亡率

我が国における死因別死亡率の年次推移



厚生労働省平成20年 人口動態統計(確定数)より作図

我が国における肺炎の年齢階級別死亡率



厚生労働省平成20年 人口動態統計(確定数)より作図

<解説>

肺炎は平成20年の我が国における死因別死亡率の第4位で、近年再び増加しており、脳血管疾患を抜いて第3位以内になる日も近いと考えられます。これは、肺炎による死亡率は高齢者で高く、我が国の人口構造の高齢化を反映したものと考えられます。

インフルエンザに合併する細菌性肺炎

インフルエンザに合併する肺炎には

1. インフルエンザウイルスによるウイルス性肺炎

インフルエンザウイルスそのものによるウイルス性肺炎で、primary またはpure influenza viral pneumoniaなどと称される。

2. インフルエンザ罹患後に発症する細菌性肺炎

原因菌は肺炎球菌、インフルエンザ菌、黄色ブドウ球菌が多い。

3. ウイルス性肺炎と細菌性肺炎の合併

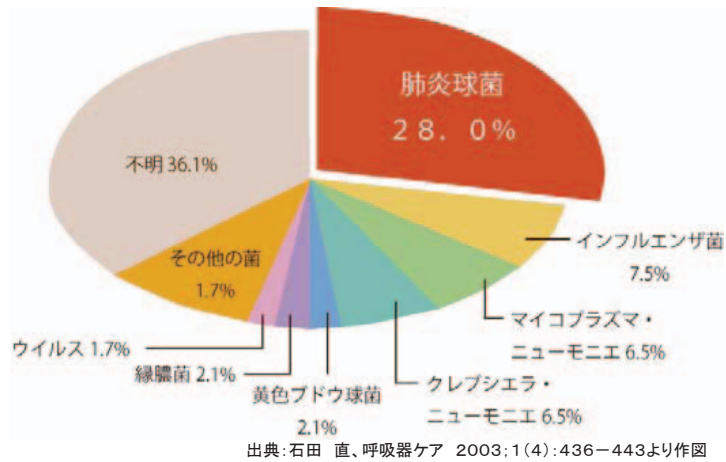
の3つの型がある。

http://www.jrs.or.jp/home/modules/glsn/index.php?content_id=16
日本呼吸器学会、成人市中肺炎診療ガイドラインより一部改変

<解説>

インフルエンザ流行時に発症する肺炎の多くは、インフルエンザ罹患後の細菌性肺炎とされています。その原因菌としては肺炎球菌、インフルエンザ菌、黄色ブドウ球菌が多いとされており、適切な抗菌薬による治療が必要です。

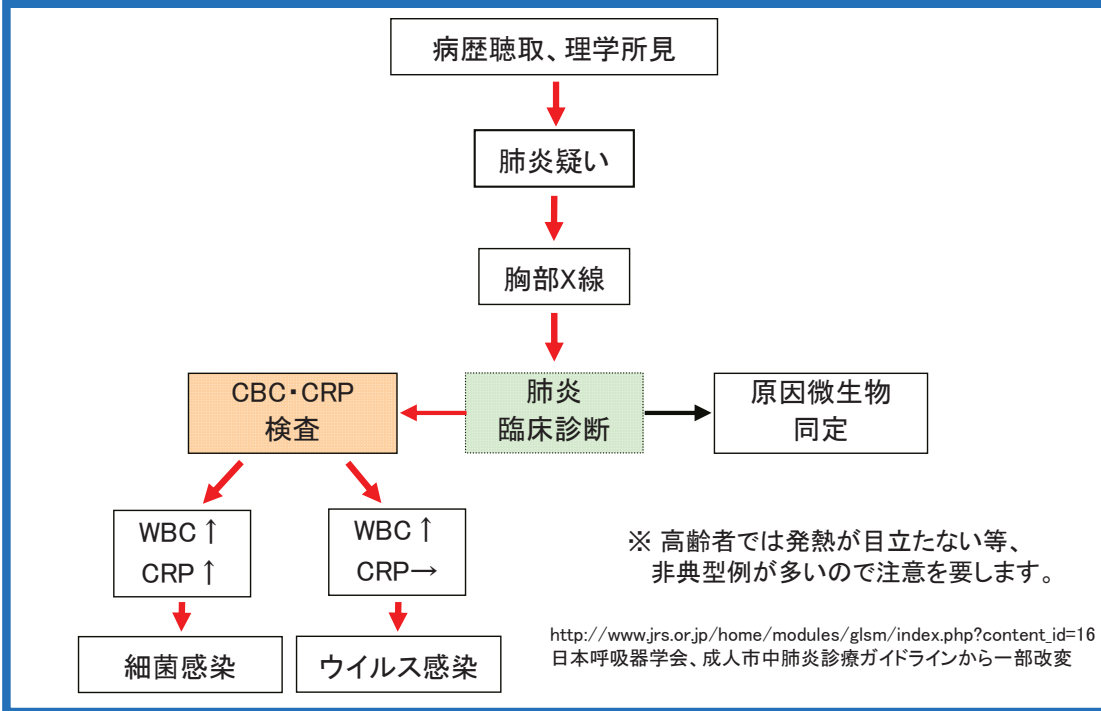
市中肺炎の原因微生物



<解説>

市中肺炎の原因微生物として最も多いのが肺炎球菌であり、次いでインフルエンザ菌です。これらの細菌は鼻咽頭に常在あるいは定着しますが、免疫力低下時等には病原性を発揮し、肺炎以外にも髄膜炎や菌血症等の重症感染症の起炎菌となり得るため、早急な対処が必要です。

肺炎の診断と原因鑑別のフローチャート



自動血球計数CRP測定装置

Microsemi LC-667CRP

製造販売届出番号

26B3X00002230004

自動血球計数CRP測定装置 Microsemi LC-667

CRPは全血、検体吸引量18μL、約4分で

CBCとCRPを同時に測定できます。

<解説>

日本呼吸器学会の成人市中肺炎診療ガイドラインを一部改変した肺炎診断のフローチャートです。胸部X線により肺炎の臨床診断を行います。その後、各種感染症検査により原因微生物の同定を試みるとともに、CBCとCRP検査により細菌性肺炎かウイルス性肺炎かの鑑別を行い、適切な治療法を決定します。

ハイテクの一步先に、いつも。

株式会社 堀場製作所

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2 (075)313-8121 (代)

<http://www.horiba.co.jp> e-mail: info@horiba.co.jp

医用システム統括部 TEL (075) 313-5736 (直) FAX (075) 321-0752 E-mail me_info@horiba.co.jp

東北セールスオフィス (022)308-7890 (代) 〒982-0015 仙台市太白区南大野田3-1 (第3エースト斎藤1F)
 東京セールスオフィス (03)3861-8389 (直) 〒101-0031 東京都千代田区東神田1-7-8 (東神田フコク生命ビル)
 名古屋セールスオフィス (052)936-5781 (代) 〒461-0004 名古屋市東区築3-15-31 (住友生命千種第2ビル4F)
 大阪セールスオフィス (06)6390-8013 (直) 〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-4-17 (新大阪上野東洋ビル4F)
 広島セールスオフィス (082)288-4433 (代) 〒735-0005 安芸郡府中町堂の町2-5-27 (古田ビル1F)
 九州セールスオフィス (092)472-5041 (代) 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-26 (安川産業ビル6F)

監修:

京都府立医科大学感染制御・検査医学講師、

同 附属病院臨床検査部副部長 稲葉亨先生